

第1号様式（第6条）関係

伊勢原市民協働事業提案書

平成30年5月30日□

住 所 

団体名 第19回太田道灌の集い

実行委員会

代表者名 実行委員長 三上 利栄 

伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第6条の規定のより、次のとおり提案します。

提案区分	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
協働事業名	第19回太田道灌の集い
添付資料	(1) 団体概要 (2) 事業実施計画書、 (3) 協働事業収支予算書 (4) 規則、定款、会則、またはそれに準ずる物の写し。 (5) 会員、構成員の名簿の写し。 (6) 昨年度の活動完了報告書及び収支決算書の写し。

第2号様式（第6条）関係

団 体 概 要

平成 30 年 5 月 30 日

団体名	太田道灌の集い実行委員会	
所在地	〒 [REDACTED] [REDACTED]	
代表者	実行委員長 三上 利栄	
設立年月	平成 26 年 8 月 2 日	
会員数	会員 28 人（うち伊勢原市民 27 人）	
業務内容	① 第 19 回太田道灌の集い（市民分会館大ホール）の開催と成功のための活動。 ② 文武両道の鑑・太田道灌の文化の顕彰と発表。 ③ 東京オリンピック時に江戸城開城の太田道灌をNHK大河ドラマにと、放映を実現する運動に連帯して協力。 ④ 伊勢原市開催の「第 51 回道灌祭り」への協力参加。 ⑤ 道灌関連の地方自治体との友誼と交流を図る。 ⑥ 市内外の道灌コースの案内、道灌の史蹟調査と冊子の作成。 ⑦ ニュースの発行とホームページなどへの掲載。 ⑧ 道灌の文献学習・講座など之開催。	
公益事業	① 市民協働事業として毎年連続して「太田道灌の集い」の開催して道灌文化の顕彰。（今年は 19 回目） ② 道灌サミット準備会第 4 回開催。（今年は 5 回目） ③ 太田道灌を大河ドラマに！の放映運動に協力。 ④ 「道灌の市民講座」を開催。 ⑤ 道灌コース案内と道灌冊子、写真展示等の普及。	
連絡担当者	氏 名	三上利栄
	所 属	実行委員会
	電 話	[REDACTED] [REDACTED]
	F A X	々
	e-mail	な し

第3号様式（第6条）関係

協働事業実施計画書

平成30年5月30日

協働事業名	第19回太田道灌の集い
事業の目的	① 伊勢原市の道灌まつりの主人公の文武両道の太田道灌の歴史と文化を顕彰する集いとする。 ② 過去19年間太田道灌の命日を選んで道灌の集いを市民サイドで行ってきた伝統を守る。 ③ 道灌関連の自治体のネットワークを作るために道灌サミットを開催する。 ④ 毎年上梓される太田道灌の歴史小説を普及する。 ⑤ 甲冑隊など演舞・寸劇で道灌を表現するし、また、歌で道灌の歌の紹介も行う。参加者は1000人以上をめざす。
事業の内容	① 7月29日伊勢原市市市民文化会館大ホールで1000人規模の集いを開催する。 ② 第1部文化の発表、第2部式典、第3部芸能発表の内容。とくに、市内の有名な芸能家の芸の発表を行う。 ③ 大ホールでは2021年大河ドラマをめざす活動報告を行い確認して総決起の場とする。 ④ 午前に道灌サミット（5回目）を開催し自治体関係の交流を図る。展示も行う。また、幡さん講演をサミットで行い、大ホールではサイン会も行う。 ⑤ 大衆募金を行い資金を募る。
スケジュール	自平成30年4月より10月31日まで
協働の成果	① 伊勢原市との協働事業は市民への安心感、期待感、信頼感を持つので成功への保障となる。市民参加の大きな動機となる。 ② 集いの計画は実行委員会側で行うが、安定して成功へは行政との協力が要請される。 ③ 市の会場使用料負担は参加者への負担の軽減となる。

役割分担の	(市民協働団体の役割) ① 集いの立案とともに宣伝・組織・財政が重要である。この点に蓄積に力を尽くす。 ② 宣伝チラシ、プログラム、推進ニュースの発行など行う。 ③ 資金は募金で行うので、集いの事前事後に大いに努力する。 ④ アンケートとって献の御運営に備えるようにする。
	(市の役割) ① 集いや講座の会場の確保 ② 市広報などへの掲載 ③ 講師などの相談と推進

「第 19 回太田道灌の集い」 予算書

伊勢原市長 様

平成 30 年 5 月 30 日
第 19 回太田道灌の集い
実行委員会
実行委員長 三上 利栄

第 19 回太田道灌の集いの予算書を提出します。

記

1. 収入の部

区 分	金 額	摘 要
賛助会費	100,000 円	道灌顕彰会、観ボラより
祝い金	100,000 円	集い会場でのお祝金
会場募金	70,000 円	集い会場での募金
一般募金	100,000 円	集い当日までの大口募金、一般募金
雑収入	20,000 円	本、冊子、寄金等の普及など
≪計	390,000 円	

2. 支出の部

区 分	金 額	算出根拠等
出演・講師料	80,000 円	落語家他の出演料など
宣伝費	80,000 円	プログラム、ポスターなどの印刷
事務所費	45,000 円	広告代、保険料など、
消耗費	60,000 円	インキ、紙、FAX 代など、
通信費	40,000 円	関東地域への通信費、切手、はがき代など
交通費	30,000 円	交通費、車代など
会場費	15,000 円	会場費代
用具作成費	40,000 円	看板作製費、ノボリなど購入代
計	390,000 円	

第 19 回太田道灌の集い実行委員会運営要綱

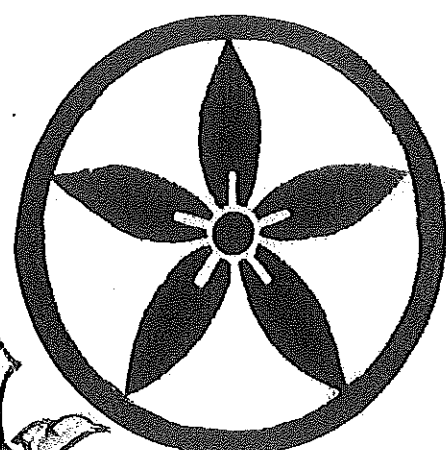
平成 30 年 5 月 30 日

1. 名 称 第 19 回太田道灌の集い実行委員会と称します。
2. 事業主体 伊勢原市と市民団体の「第 19 回太田道灌の集い実行委員会」が市民協働事業として実施します。
3. 方 針 従来、太田道灌公墓前祭実行委員会といせはら観ボラ、いせはら学ボラが第 13 回までは実行委員会を構成して実施してきました。第 15 回からは記念の節目として、規模も大きく、かつ太田道灌の伝統文化を顕彰したいとの市民的意向をも受けて市民協働事業として実施してきました。16 回、17 回と重ねて 18 回で独自にこの集いを市民協働事業として成功させることとしてきました。今回は、従来私どもと交流のある「道灌ゆかり」の東京・千代田区、荒川区、武蔵村山市、埼玉・川越、本庄の両市と越生町、静岡・東伊豆町、神奈川・鎌倉市などにも参加を呼び掛け、「大河ドラマをめざす総決起」となるように結合して「展示」し、「第 5 回道灌サミット準備会」も開催します。また、事前には市内にある「道灌コースのウォーク」「道灌法要」なども観ボラの協力参加で実施します。
成功のために宣伝し、参加人員を増やすように組織します。予算などは創意と工夫をして大衆募金で実行にあたります。
プログラムは市内出身者の文化人、芸能人の協力を得て別途作成して盛り上がり成功するように取り組みます。
4. 実施日と目標 太田道灌の命日は 7 月 26 日、今年は 532 回忌です。この前後に開催した従来の経緯からことしは「7 月 29 日」とし、場所は伊勢原市市民文化会館大ホールとします。参加目標は 1 千人とします。
5. 予算・参加費 予算は別紙のような額とします。財源は、寄付金。募金、賛助会費、祝い金などで賄うように創意と工夫をします。具体的には、予算書によります。
6. 実行委員会 太田資暁会長、三上利栄実行委員長は「第 1 回道灌の集い」からの 19 年間に及ぶコンビです。このほか計 28 人で実行運営にあたります。当日は観ボラ、学ボラ、甲冑隊などから応援を得て運営します。
7. 連絡事務所 連絡・事務所は、[REDACTED] に置きます。連絡先は三上利栄とします。電話と FAX は [REDACTED]。携帯 [REDACTED]。
8. 市との協議体制 市とは定期協議以外にも随時相談を行います。また終了後は総括文書を提出し協議し評価を定めます。

第 19 回太田道灌の集い実行委員会実行委員メンバー

平成 30 年 5 月 30 日

NO	氏 名	住 所	役 職
	太田資暁	[REDACTED]	会長
	尾崎孝	[REDACTED]	相談役
1	三上 利栄	[REDACTED]	実行委員長
2	山口 靖之	[REDACTED]	副々
3	及川 勢子	[REDACTED]	副々
4	宮腰 義明	[REDACTED]	副々
5	加藤 夏夫	[REDACTED]	副々
6	大矢千鶴子	[REDACTED]	副々
7	今井 滋	[REDACTED]	副々
8	森内 文之	[REDACTED]	副々
9	鳥海 増雄	[REDACTED]	副々
10	鳥海 政男	[REDACTED]	幹事
11	清水 光子	[REDACTED]	々
12	山本喜美子	[REDACTED]	々
13	西部 周子	[REDACTED]	々
14	川中 彰	[REDACTED]	々
15	薦本 明	[REDACTED]	々
16	若林ミヤ子	[REDACTED]	々
17	大塚 勝	[REDACTED]	々
18	渡部 桂子	[REDACTED]	々
19	喜多 実	[REDACTED]	々
20	那須 憲三	[REDACTED]	々
21	加藤 利子	[REDACTED]	々
22	吉川 福司	[REDACTED]	々
23	山本 陽	[REDACTED]	々
24	小川千鶴子	[REDACTED]	々
25	上野 幸男	[REDACTED]	々
26	佐藤 克彦	[REDACTED]	々
27	佐藤 茂行	[REDACTED]	々
28	菅原 信夫	[REDACTED]	々



第十九回
太田道灌の集い

大河ドラマをめざす!!



とき：平成30年7月29日(日)午後7時より
とこ：伊勢原市市民文化会館大ホール
主催：第19回太田道灌の集い実行委員会
太田道灌公を大河ドラマに!! 実行委員会

EX
2016

「第19回太田道灌の集い」実施に関する協働事業協定書

伊勢原市（以下「市」といいます。）と第19回太田道灌の集い実行委員会（以下「実行委員会」といいます。）は、「第19回太田道灌の集い」（以下「事業」といいます。）の実施に関し、次のとおり協働事業の協定を締結します。

1 事業の目的

伊勢原市を代表する偉人である太田道灌の命日に合わせて集いを開催し、道灌を顕彰するとともに、道灌の功績を市内外に広く発信することで、本市の観光振興の増進並びにホスピタリティの向上を図る。

2 協定の目的

本協定は、事業の実施にあたり、市と実行委員会との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

3 協働に関する原則

市と実行委員会とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等かつ協力的な関係を保つよう心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくれます。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報の保護に考慮しながら、協働の過程や結果等の情報を公開し、市民の理解を得るように努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。
- (6) 一定の時期に事業の効果を検証・評価し、改善を行うとともに、事業の継続の可否についても検討します。

4 役割と責務

(1) 市の役割と責務

ア 情報提供

市は、実行委員会に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 会場の確保の支援を行います。
- ii 市広報などによる事業周知を行います。
- iii 本事業開催にあたって、助言やアドバイスをを行います。

ウ 報告書に関すること。

市は、実行委員会が作成した報告書等の内容を真摯に検討し、市政に生かすよう努めます。

実行委員会の役割と責務

ア 情報提供

実行委員会は、市に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 事業の目的を達成するため、事業を総括します。
- ii 事業開催のための他団体との連絡・調整を行います。

- iii NHK大河ドラマ化に向けた関係市町村とのサミット開催に向けた取組に協力を行います。
- iv その他、事業開催に関わる全てを行います。
- ウ 経費の負担
実行委員会は、事業に掛かる費用を負担します。
- エ 情報公開
実行委員会は、事業実施の経過・内容・成果などについて、より多くの市民の目に触れるように広く一般に情報公開や情報提供をします。
- オ 個人情報の保護
実行委員会は、事業を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、市の個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。
- 5 相互の連絡調整
市と実行委員会は、相互の連絡調整を円滑に行うため、適宜、連絡調整会議等を開催して協議します。
- 6 協定の有効期限
本協定の有効期限は、平成30年9月30日までとします。
- 7 報告書の提出
実行委員会は、事業終了後60日以内に市に対し事業完了報告書を提出するものとする。
- 8 事業の評価等
市と実行委員会は、事業の実施後に事業の評価を行います。
- 9 その他
本協定に定めのない事項で、事業を実施する上で必要と認められるものについては、市と実行委員会が協議して定めるものとします。

平成30年6月25日

(市)

伊勢原市田中348番地

伊勢原市長 高山 松太郎

(市民活動団体)

第19回太田道灌の集い実行委員会

実行委員長 三上 利 栄